

校長室だより

No. 12

平成30年6月22日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよしかず
加藤嘉一

自然体験学習の価値とは ー野外活動指導員 鈴木優先生をお招きしてー

自然の中でご飯をたき、カレーを作る。子供たちにとってこれほど楽しみな活動はありません。しかも、石で炉を作り、薪を割って火をおこすことなど、本当にアウトドア活動の好きな御家庭でないとやらないと思います。わたしは、岡崎市以外の野外活動施設を何件か使用した経験がありますが、たいていは、レンガなりドラム缶を再利用したものなり、炉は作られたものでした。岡崎市の少年自然の家は、以下の作業があります。

①炊飯棒を立てる

②炊飯棒の周りに石を組んで炉を作る

③鉋（なた）で薪を割って細い薪を作る

ここは炉作りから経験ができるところが特徴的です。運動場でやってもなかなかうまくできないものです。これは、非常に貴重な経験です。



【山の学習でおいしいご飯をたくために(授業) 鈴木先生とともに】

本校では、岡崎市少年自然の家を利用した「山の学習」を5年生で実施しています。(市内はほぼ5年生で行っています)今回、岡崎市の野外活動指導員として自然体験活動全般の指導の仕方についてアドバイスしてくれる鈴木優先生を招きました。子供たちへの授業を本校教員とともにいき、その後本校が進める山の学習について、5年生教員にアドバイスをしてくださりました。

今回、鈴木先生のさすがと思ったことがいくつかありました。子供たちの前で、飯盒炊爨(はんごうすいさん)の方法・注意点を教えていくのですが、まず一番大切にされていたことが「あたたかい拍手」でした。子供たち同士でがんばったことへの賞賛や相手へのねぎらいの気持ちを形にして表すことを1時間ずっと促されたのでした。ただの拍手ではなく「あたたかい拍手」です。初めて会う子供たちと、すぐに関係を作っていくところもさすがでした。これにより子供たちの雰囲気はぐっと和やかなものになり、笑顔が増えました。

そして、薪割り指導や飯盒での米の炊き方指導も工夫されていました。薪割りは子供がとてもやりたい仕事のひとつです。割ることが面白くなって、必要以上に薪を割っていきます。(細くした薪がどんどん燃え、カレーが煮える前に全ての薪を燃やしきってしまうという班を毎年いくつか見ます)特に、鉋の場合は危険ですから、安全な使い方の指導が必要です。そこで、鉋の使い方間違い探しをさせたり、米の炊き方指導で3択クイズを用いたりしていました。薪割り

の部分では、「3本の太い薪からだいたい14本の細い薪を作ればいい。」と鈴木先生は言われました。薪の組み方のことを教えながら、危険がともなう活動にも制限をかけていたのでした。

そして、もっとわたしが感心したのは授業の終わりの説話でした。

【鈴木優先生の授業終わりの説話】

ある学校の話です。みんなで一生懸命飯盒炊爨をやっていた班の話です。カレーが煮え、炊飯活動がまさに終わろうとするころ、カレー鍋を運んだ子が石につまずき、カレーの多くをこぼしてしまいました。それを見たそばにいた子が一言「ドンマイ。」と明るく言ったのです。そして「大丈夫、大丈夫。残っているカレーをみんなで分ければいい。」と続けて言いました。鍋に残っている量など手のひらにのるくらいの量。そして、このことはこれで終わりませんでした。このことに気がついた他の班の子たちが、自分たちの作ったカレーをお玉1杯ずつその班に持ち寄ってきたのでした。石につまずいてしまった子やこの班の子たちにとって、これまでに食べたことのない、一番おいしいミックスカレーになったそうです。

鈴木先生が伝えたかったことは、飯盒炊爨などの普段できない体験や自然の偉大さ・厳しさを学ぶだけの学習ではないということだと悟りました。自然体験学習のなかで、人として大切なものを学び育てる機会であるということだと思えます。教科の学習に関心は傾きがちですが、こうした学習をおろそかにしたら、日本は大変なことになるかと再認識しました。18日(月)には大阪北部で大きな地震がありました。多くの方がつらい思いをされていると思います。被災された方々の日常が一日でも早く戻ることをお祈りするとともに、鈴木先生のお話に登場したような子供を育てることを誓いたいと思います。

第1回学校評議員会開催 一 家族参観・親子教養講座にも参加して一

先週の家族参観日に、第1回学校評議員会を開催し、わたしから本年度の学校経営方針と具体的な目標や取組等を説明させていただきました。新学習指導要領に向けた取組、特色ある学校づくりのための具体的な取組が中心です。学校評議員の方からは、ペア交流(異学年交流)は人のつながりを作り学区を愛する人を育てる大切な活動ではないかなど、現在見る地域での子供の姿と将来を展望した視点から御意見をいただきました。感動したのは、安全面の話で「地域の宝の子供に傷をつけちゃいかん。だから地域でもできることは協力します。」という言葉をいただいたことです。「子供は地域の宝」この言葉が中部の最大の強さです。

【学校評議員のみなさん】

六ツ美中部学区社会教育委員長	杉浦	護	様
六ツ美中部学区総代会長	天野	幹康	様
民生委員会代表	村松	隆夫	様
主任児童委員代表	松原	明美	様
六ツ美中部小学校PTA会長	秋葉	徹	様

